

平成29年度 下水道部長マニフェストに掲げた取組の指標一覧表

1 浸水対策を最重点とし、あわせて老朽化対策及び地震対策を推進します。

No.	担当所属	組織目標	主な取組(事業)	指標						評価	
				項目(単位)	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標	H29結果		補足・参考指標
1	西部地域下水道事務所建設課	緊急度の高い浸水対策事業に着手します。	・五十嵐排水区の雨水局所対策工事の着手	浸水対策の事業着手(箇所)	4	1	2	1	2		達成
2	下水道計画課	雨水計画に基づく施設整備推進と共に自助・共助の強化を含む総合的な浸水対策による雨に強い都市づくりのため、浸水ハザードマップの策定と雨水の事業計画変更を行います。	・浸水ハザードマップの策定	浸水ハザードマップの公表(地区)	1 (東区)	1 (西区)	1 (秋葉区)	2 (江南区 北区)	2 (江南区 北区)		達成
			・船見中部公共下水道の事業計画(雨水)の変更 ・北部公共下水道の事業計画(雨水)の変更	事業計画変更数(件)	3	1	0	2	2		
3	下水道計画課 下水道管理センター 施設管理課	下水道施設の機能を確保するため、施設管理情報のデータベース化を図るとともに、計画的かつ効率的に維持管理を行う「ストックマネジメント計画」の策定を進めます。	下水道台帳(施設)管理システムの構築	システムの構築	—	—	システム構築業務委託発注	システムの構築・稼働	システムの構築・稼働		達成
			ストックマネジメント支援制度に基づく「簡易なストックマネジメント計画」の策定	計画の策定・国へ提出	—	—	—	「簡易なストックマネジメント計画」策定・提出	「簡易なストックマネジメント計画」策定・提出		
4	東部地域下水道事務所 北下水道課 秋葉下水道課 下水道管理センター 維持管理課	下水道施設の長寿命化対策を推進します。	・葛塚排水区雨水幹線改築工事 ・新津中部処理分区分管渠改築工事 ・船見処理区下水道管渠改築工事	管渠長寿命化施工延長(km)	0.6	2.9	6.2	4.7	4.158	予定通り進捗 ※センターが年度途中で目標変更有(4.0⇒3.5) ※ほぼ達成 ※北0.246 秋葉0.412 センター3.5	達成
5	下水道管理センター 維持管理課	下水道管きょの点検・調査を計画的に実施し予防保全型維持管理を推進します。	合流管及び分流汚水管のマンホールポンプの吐出し及び伏越し箇所等の腐食する恐れの大い管路の点検・調査	管路の点検(箇所)	—	—	97	80	80		達成
6	東部地域下水道事務所 建設課	下水道中期ビジョン改訂版に基づき管渠の耐震化整備を行います。	・鳥屋野幹線耐震化工事(570m) ・近江1号幹線耐震化工事(90m)	整備延長(km)	—	0.7	0.41	0.66	0.584	予定通り進捗 ※近江1号幹線は安全性の確認精査のため次年度へ見送り	達成

平成29年度 下水道部長マニフェストに掲げた取組の指標一覧表

2 下水道への接続と選択と集中による汚水施設の効率的な整備を推進します。

No.	担当所属	組織目標	主な取組(事業)	指標						評価	
				項目(単位)	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標	H29結果		補足・参考指標
1	下水道計画課	総合的な汚水処理の推進により未普及地域の解消のため、汚水処理施設整備構想を策定します。	・汚水処理施設整備構想策定に向けた取組み ・地元説明会の実施 ・パブリックコメントの実施	汚水処理整備構想の策定・県へ提出	—	—	素案作成	構想の策定・提出	構想の策定・提出		達成
2	東部地域下水道事務所 北下水道課 秋葉下水道課 西部地域下水道事務所 普及推進課 南下水道推進室	公設浄化槽設置基数の増加を図ります。	・公設浄化槽PR文書の配布と意思確認 ・地元説明会の開催	公設浄化槽設置件数(件)	26	33	29	48	15	目標ほど設置希望があがっていない。(ビジョンの目標数値設定が高くなっている)	未達成
3	経営企画課 東部地域下水道事務所 普及推進課 北下水道課 秋葉下水道課 西部地域下水道事務所 普及推進課 南下水道推進室	下水道への接続促進を図ります。	・戸別訪問による勧奨業務 ・説明会等における啓発活動 ・未水洗化理由の分析と対策 ・啓発用ツールの作成 ・未接続大口事業者への勧奨活動 ・イベント開催による普及啓発	新規接続世帯数(件)	5,104	3,784	4,658	4,601	5,072	東部1,944 北295 秋葉360 西部2,107 南366	達成
4	経営企画課 下水道計画課 東部地域下水道事務所 普及推進課 建設課 北下水道課 秋葉下水道課 西部地域下水道事務所 普及推進課 南下水道推進室 建設課 下水道管理センター 維持管理課 施設管理課	職員の職務遂行能力と経営意識の向上を図ります。	・職員自らが企画する研修会の実施 ・下水道関係研修会への講師としての参加	研修会開催回数又は講師としての参加回数等(回)	—	—	138	128	131	経企13 計画14 東部普及9 東部建設15 北12 秋葉18 西部普及9 南7 西部建設8 センター維持6 センター施設20	達成

3 スマート下水道(未利用資源・エネルギーの有効利用)を推進します。

No.	担当所属	組織目標	主な取組(事業)	指標						評価	
				項目(単位)	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標	H29結果		補足・参考指標
1	下水道管理センター 施設管理課	下水汚泥と混合消化するための刈草受入施設の供用を開始し、混合消化施設プラントの安定運用を行います。	・施設の安定運用 ・刈草受入量と処理量の調整 ・新たな刈草搬入事業者の模索	刈草の受入量(t)	事業計画策定 実施設計	施設建設	87	100	108	・消化ガス増加量の検証 ・施設の安定運用と受入量の平準化	達成
2	下水道計画課	環境負荷の低減を図り、低炭素型都市づくりの構築するため、下水道が有する資源・エネルギーの有効利用を推進します。	・下水熱を利用した融雪への取組み ・下水熱による車道融雪の実証実験に向け、関係機関との調整を進める。	下水熱を利用した融雪への取組み	事業採択(歩道融雪)	B-DASHプロジェクト採択(車道融雪) 歩道融雪施設完成	共同実験の実施(車道融雪)	実証実験(車道融雪)実施に向けた関係機関の合意	実証実験(車道融雪)実施に向けた関係機関の合意	・H26:新世代下水道支援事業の採択(歩道融雪)。 ・H27:B-DASHプロジェクト採択(車道融雪)。 ・H28:B-DASHプロジェクト共同研究実施	達成
3	東部地域下水道事務所 秋葉下水道課		・モデル事業として整備した下熱による空調設備の事業効果のPR活動を行う	下水熱を利用した空調設備の事業効果のPR活動	調査	整備	効果検証	事業効果のPR活動	事業効果のPR活動	・昨年度に行った効果検証の結果を踏まえて、事業効果のPR活動を行う。(公社)日本下水道協会主催の下水道研究発表会などに参加し、積極的にPR活動を行う。	達成